

事前質問の取扱いについての整理案

※自立支援協議会の3名を含む8名の委員から54の質問が寄せられた

【今回の協議会で優先的に議論すべき話題】

1・2	資料2	福祉教育
14	31	成年後見制度の市町申し立て件数
17	37	乳児家庭全戸訪問
23	47	医療的ケア児等喀痰吸引等研修費補助金
24	47	医療的ケア児等喀痰吸引等研修費補助金
34	59	基幹相談支援センターによる研修の実施
45	94	ペアレントトレーニング
48	108	基幹相談支援センターの相談件数の見込み量

論点

インクルーシブ社会の実現に向けて今後の取組は「A 拡充」に変更  
実績等を踏まえて／出産・子育て応援給付金  
20歳未満という規定についての見直しについて  
実績なしへの対策  
目標の上方修正が必要ではないかという問題提起  
目標値が少なすぎるのではないかという問題提起  
目標の上方修正が必要ではないかという問題提起

学習指導課  
障害福祉課  
こども家庭センター  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課

志田  
川越  
川越  
佐塚  
川越  
川越  
大友  
川越

【計画の進行管理】（今回議論する場合には、認識の共有や議論に必要な資料等の要望を確認することに重きを置くことを考慮）

4	資料2	松戸市医療的ケア児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金
6	資料2	在宅人工呼吸器使用者の停電時の備えの強化
15	32	日常生活自立支援事業
19	40	医療的ケアを必要とする児の単独通園
22	42	不登校、問題行動に関する相談
25	48	松戸市医療的ケア児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金
28	50	「高齢期における切れ目のない円滑な支援」
41	84	災害や感染により支援者が不在となった場合の対応
46	93	重心児を支援する児童発達支援及び放課後デイ事業所の確保
47	94	相談支援専門員の確保
49・50	108	基幹相談支援センターの体制強化

安全を確保しつつ受け皿を増やす対策の検討  
訓練を行った訪問看護師への報酬  
経年実績と補助金増の経緯を踏まえた目標の設定  
5歳児週3日や4歳児について拡充する方向  
※世田谷区子どもSOS相談/不登校児童の放課後デイ利用  
事前予約制で1日3～4名が同時利用する形/次の一手  
取組の報告を継続して、次回の計画策定時に設定する  
個別事例への対応体制を整えていく必要がある  
医療的ケアへの参画を促す施策  
事業者への補助制度についての検討  
必要な人員増についての検討

障害福祉課  
健康政策課  
社会福祉協議会  
こども発達センター  
児童生徒課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課

佐塚  
佐塚  
星野  
川越  
志田  
川越  
川越  
川越  
川越  
大友  
志田・大友

番外	—	千葉県在宅難病患者一時入院等事業
番外	—	松戸クリニック閉院

東松戸病院閉院後の対策  
相当数の障害児者に混乱が生じる恐れがないか注視

川越  
川越

【幅広に議論すべき話題】（今回議論する場合には、問題提起にとどめて次年度以降に議論する方法もありうる）

20・21	40	こども発達センター（外来療育）
27	49	保育所における医療的ケア児の受入や合同園について
29	50	知的障害者の認知症
30	50	新高額障害福祉サービス等給付金
33	57	地域活動支援センター

初診まで3～4か月待ちの現状がある  
合同園について、今後検討していく  
認知症疾患医療センターが鑑別診断する流れの確立など  
過去の実績を踏まえて善後策について検討  
利用対象者についての弾力的な運用を求める

こども発達センター  
保育課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課

大友  
佐塚  
榎本  
川越  
大友

【国レベルでの検討が必要かもしれない事項】

16 35 5歳児健診  
38 69 福祉タクシー

論点

公費負担について検討中との報道あり  
介護タクシーのようなサービス創設？

こども家庭センター  
障害福祉課  
榎本  
佐塚

【事前質問票の記載によりある程度対応がなされた質問】（追加質問や議論についてはさまたげない）

3 資料2 障害者職場実習奨励金  
5 資料2 重症心身障害児通所支援事業所開所延長支援補助金

職種や体験内容について回答  
3段階の補助率：開所時間を延長する目的

商工振興課  
障害福祉課  
小嶋  
佐塚

7 14 「優先調達」という用語の解説  
8 25 ふれあいいいききサロンの会場  
9 25 障害者家族の相談コーナー  
10 27 交流の場の提供の「具体的な行動」の記載について  
11 28 若年層のボランティア参加を促す取組・支援  
12 29 ボランティア活動の推進  
13 30 「助成事業」という記載  
18 38 心理士による個別相談の件数と人員配置  
26 49 普通小中学校における医療的ケア児の受け入れ  
31 50 高齢期における切れ目のない円滑な支援  
32 51 障害者の法定雇用率未達の理由と計画値の理由  
35 59 地域生活支援拠点  
36 65 相談支援事業所連絡会  
37 68 市指定難病療養者援護金  
39 79 バリアフリー化推進事業  
40 80 リフォーム相談

巻末資料に用語集としてまとめる  
配慮するよう協力を依頼する  
チラシの配布やポスターの掲示を検討  
それぞれの立場から実行しうる行動を記載している  
今後、様々な機会を創出していく  
パートナー講座や学校単位での取組みを実施  
現在の表記のまま ※「各種」としてはどうか？  
実績を明示する  
追記する  
表現の明確化  
上位計画である松戸市総合計画において設定した  
5つの機能をわかりやすく明記する  
継続して支援していく ※職能団体化を促す？  
他市町村の動向を注視しつつ研究していく  
関係課に情報提供する  
障害者住宅改修助成金の対象外

障害福祉課  
社会福祉協議会  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課・学務課  
障害福祉課  
こども発達センター  
学習指導課  
障害福祉課  
商工振興・障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
-  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
-

大友  
志田  
志田  
菊田  
榎本  
小嶋  
星野  
川越  
川越  
佐塚  
川越  
星野  
佐塚  
志田

42 88 活動指標について  
43 89 令和8年度末の目標について  
44 89 地域生活支援拠点のコーディネーター  
51 109 市が委託する相談支援事業所について  
52 90 強度行動障害  
53 92 「児童発達支援センターを設置する」という記載  
54 112 手話通訳者・要約筆記奉仕員派遣

表記内容の明確化を図る  
今後の推進協議会において進捗について管理する  
役割について明確に記載する  
削除もれにつき、削除する  
国の指針に沿って文言の明確化を図る  
国の指針に基づいて記載している  
計画値を上方修正

障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課  
障害福祉課

星野  
星野  
川越  
川越  
星野  
星野  
星野